

社会福祉法人
北ひろしま福祉会

夷蝦援護咲く

vol.51
エゾエンゴ・サク

明日への一歩を踏み出そう！

世界で今何が起きているのか？

異常気象！世界各地の争い！貧困の格差拡大！心のゆとりのなさ・貧しさ！

そう感じているのは私だけでしょうか？

最近のテレビ、インターネット、新聞などの情報を見ると大半を占めている内容です。

国家・人種・宗教・家族、何をもって人をまとめているのでしょうか？

国とは何か？そこに生きている私たちも同じ価値観ではなく、求めるものも違います。

また、人は「五感」を使いより知ろうとします。そして知ったことに対して時には同調し、時には批判する。意見の相違もあり、考え方の違いがあり、見方、聞き方、言い方の違いもあります。

世界のほとんどの人が共に仲良く生きたいと願っていると思いますが、全ての人が相互に理解し合うことは難しく、また勇気のいることかもしれません。しかし、自分から一步踏み出す勇気が何かを変えることができると思います。全ての人が共生できる社会を目指し小さな一歩を踏み出す勇気を持ちたいですね。

社会の中での様々な出会いや発見、全ての人を孤立させない取り組みを今日から始めませんか？

お互いがそれぞれの明日への一歩を踏み出すためにも！

北ひろしま福祉会 総合施設長 奥田 誠

北ひろしま福祉会は法人の基本構想である
『市民の郷構想』の実現に向け事業運営を行っています

『市民の郷構想』とは…

社会福祉法人には、“公共性をもつ民間事業者として、セーフティネットの一翼を担い、採算性の見込めないサービスにも積極的に取り組む”という基本的な使命があります。また、現在の利用者だけではなく、地域の高齢者、障がい者、子供など一般市民がお互いに支えあえる地域福祉の拠点として活動する役割があります。その社会的な使命を果たすべくつくられた事業構想が『市民の郷構想』です。具体的には、「障がい者支援事業」「介護保険事業」「市民参加型事業」「共生型事業」を構想の4つの柱としてその整備に取り組んでいます。

障がい者支援事業

入所施設・通所施設、
地域生活者支援
就労継続・就労移行支援

介護保険事業

特別養護老人ホーム
ケアプランセンター
デイサービス、居宅介護支援

市民参加型事業

共生の森プロジェクト
(市民の憩いの場として公園を整備)
地域活動
(まちおこし・お祭り・イベントへの参加)

共生型事業

社会貢献事業
ほっと
高齢者・障がい者・
子どもが活動する場

特別養護老人ホーム 東部緑の苑 開設

5月1日に特別養護老人ホーム 東部緑の苑が開設して

6ヶ月が経過するところであります。

北広島市内では初めてのユニット型全個室の施設としてユニットケアを

実践し、入居者の生活が充実した日々になるよう職員一同

精一杯の支援をさせて頂いております。法人理念にある

「利用者満足・家族満足の限りなき追求」を念頭に置き、

入居者とご家族が「東部緑の苑を選んで良かった」と

思って頂けるような支援ができるよう日々精進していきますので

今後ともよろしくお願ひいたします。



敬老会

9月14日に敬老会を開催しました。北広島市長 上野 正三様を来賓としてお招きし、入居者の御家族も多数来苑して頂いた中、13名の賀寿対象者へのお祝い・記念品の贈呈を行いました。



施設職員からも余興として歌やダンスの披露・法人サークルの勇太鼓の披露をして頂き盛大に執り行うことができました。



看取り援助について

10月1日より東部緑の苑では、「看取り援助」を開始しました。

単に入居者の死を看取ることだけではなく、生涯を終え旅立つ入居者及び見送るご家族が後悔のないよう関わることを支援します。「看取り援助は」日常的なケアの延長線上に存在している支援と考え、人生最後の日が来るまでの日々の生活に満足していただけるよう取り組んでいきます。

現在、職員やご家族対象に看取り援助ケアの説明会を開催しております。

東部緑の苑における地域生活支援

東部緑の苑では地域にお住いの皆様が、住み慣れた場所で安心して暮らし続けるために、

①居宅介護支援(在宅生活の相談)、②デイサービス(日中の介護提供)、③ショートステイ(一定期間の施設での介護提供)
という3つのサービスを提供しています。いつでもご相談ください。

居宅介護支援 ケアプランセンター東部緑の苑

ケアプランセンター東部緑の苑では、在宅での生活が難しくなった方が、住み慣れた地域で継続して生活を送ることが出来るよう支援させていただいております。また、介護が必要な状態にならないように、心身の衰えを予防し、回復させ、いつまでもいきいきと、自分らしく生きることを実現するために、地域へ出向き、介護講座や介護予防体操等を開催させていただいております。

問い合わせ先

ケアプランセンター東部緑の苑
北広島市共栄276番地
電話番号 011-373-8118



通所介護 デイサービスセンター ヴェール

デイサービスセンターヴェールは、平成26年7月開設の通所介護施設で13人定員の小規模デイサービスセンターとなります。

ヴェールはフランス語で「緑」を意味し東部緑の苑のカラーを尊重しております。

ヴェールは「居・食・自(由)(い・しょく・じゅう)」を目標に行っており、食にこだわり四季折々の旬な地元野菜を使用した調理レクレーションや、普段行きたいけどなかなか行けない場所へお出かけするレクレーションなど、日中のプログラムにとらわれず利用者様の想いにできる限り応えていきたいと、職員一同取り組んでおります。皆様に満足して頂けるサービス・環境を目指して努力致します。「デイサービスセンター ヴェール」をどうぞよろしくお願い致します。



ショートステイ 短期入所生活介護 東部緑の苑

介護の必要な高齢者の方に短期間入所して頂き、食事や入浴といった日常生活全般の介護や心身の機能を維持・回復するまでの機能訓練等を提供しております。

御家族の行事で出掛けるためどうしても介護ができない、一人で自宅に過ごすのが不安である、在宅介護の代替ケアなどで入居者のみならずご家族のニーズにできる限り応えられるようなサービスを提供したいと思っております。東部緑の苑では家庭的な雰囲気を保ち、常に毎日笑って過ごしていただけるよう、入居者のご希望に沿った企画(ドライブ・書道・手芸・お菓子作り等)を行っております。

問い合わせ先

特別養護老人ホーム 東部緑の苑
北広島市共栄276番地
電話番号 011-376-8686



平成26年度 緑の郷旅行～洞爺湖～

今年は洞爺湖へ3班に分かれて1泊2日の旅行に行ってきました。1日目の昼食では白老町にある力二の看板、屋根に上がっている巨大なクマとサケが目印の「かに御殿」で美味しい力二飯を頂きお腹を満たしました。

宿泊先は「洞爺湖万世閣 ホテル レイクサイドテラス」。宴會ではカラオケ大会や外れなしの景品くじ引き等、盛大に盛り上りました。

2日目は洞爺湖の遊覧船に!皆さんで景色を楽しみながら、昼食はジンギスカンを頂き大満足です!盛りだくさんの内容と、美味しい料理を沢山頂き、充実した旅行でした!



グリーンパーク北ひろでは、グループホームの「短期入所」を利用できます!!

グリーンパーク北ひろでは男性専用ホームと女性専用ホームにて短期入所を受け入れています。利用中は同性のスタッフが身の回りのお手伝いをしますので、安心して利用できます。市区町村の福祉サービスの支給が無い方も、法人が独自に行っている「**私的体験利用サービス**」を提供しておりますので利用に関する相談がある方は是非一度お電話にて御連絡下さい!

短期入所の支給決定をお持ちの方

費用負担は、主に食費(朝450円、(昼450円)、夕650円)と日用品費(50円/日)となっております。その他、受給者証に記載された費用が徴収されます。

短期入所の支給決定をお持ちでない方

当法人が行っている“私的体験利用サービス”を利用することができます。私的体験利用サービスは上記、食費、日用品費の他、体験費用500円/日、光熱水費300円/日で利用できます。ご利用の際には、事前に見学をして頂くようお願いしております。

詳しくは、北ひろしま福祉会のライフサポートセンターまでお問い合わせください!

問い合わせ先 北ひろしま福祉会 ライフサポートセンター
北広島市朝日町4丁目4番地11 電話番号 011-373-7108

障がい者支援施設とみがおか・共栄ユニフォームが完成しました。

衛生面・感染症のリスクヘッジ・職員のモチベーション向上などを目的として入所施設とみがおか・共栄ではユニフォームの導入を検討してきました。

自分たちが着るユニフォームだから自分たちでオリジナルのユニフォームを作りたい!と昨年の12月よりプロジェクトチームを立ち上げ準備を進めて今年6月に完成・運用開始しました。

「機能性を重視しシンプルで動きやすく落ち着いた感じ」をコンセプトに置き、とみがおか・共栄それぞれの独自のデザインが出来上がりましたが共通でポロシャツの襟とズボンの裾にはアクセントとして赤・白・青3色のラインを入れており、赤は「情熱をもって積極的に」、白は「信頼・清潔感を持って」、青は「冷静な判断・行動を」という意味を込め作成しました。

新しいユニフォームと共に心機一転、利用者さんへの支援に努めていきたいと思います。



アクセントのトリコロールカラー



とみがおかユニフォーム



共栄ユニフォーム

一般就労者インタビュー

今年度の前期で北広島セルプ・就労センタージョブではあわせて4名の方が一般就労に結びついております。そのうちの一名からインタビューを頂きました。

一般就労者へのインタビュー



棚田 繁代さん

- ・就職先～北海道はまなす食品株式会社
- ・仕事内容～包装作業(主に納豆や菓子、珍味等)
- ・勤務形態～週休2日制
- 9:00～16:00の間の5時間
- ・北広島セルプ(就労移行支援)を利用していました。

Q1.お仕事のやりがいは?

自分で稼いだお金を使える。頼まれた事がしっかりと出来た時です。

Q2.お仕事で心掛けていることは?

テキパキと動くようにする事。ダラダラしない事。解らないことは聞く事。

Q3.今後の目標は?

一人暮らししたい。「この仕事は棚田さんが上手だよ」と言わせたいです。

Q4.一般就労を目指している方々へ一言をお願いします。

頑張っている姿は見れば解るので、常に見られていると意識して下さい。

又、感謝の言葉を忘れない事。

北広島セルプ職員からのメッセージ 棚田さんは、「一人暮らしをする為に、一般就労をしたい。」という目標の元で、諦めずに作業訓練や就職に向けた講習を受けて学んだ事が、自信に繋がっていました。今後とも、体調に気を付けながら日々のお仕事に取り組んで頂きたいと思います!

市民・共生① 共生の森プロジェクトについて

～障がい者も健常者もなく、子供もお年寄りもなく、北広島市に暮らすみんなが笑顔で集まる。

広大な自然と豊かな恵みに囲まれたこの土地をみんなが「共に生きる」場所にしたい。

みんなでそれをつくりたい。それが北ひろしま福祉会の共生の森づくりです。～



わたしたち共生の森プロジェクトは平成23年の秋、『市民の郷構想』の一環として発足しました。メンバーはあくまで自主参加を基本とし、10年という長い将来を見据えて自分たちの手でこの大きなプロジェクトを形にしたいという法人の職員約10名で構成されております。



本格的な活動を始め3年目を迎ますが、ようやくレクリエーションの森からエルфинロードを繋ぐ遊歩道が形になりました。

10月24日に共栄縁の郷保護者会や広島幼稚園の園児たちにもお手伝いして頂いて、桜の植樹祭を開催しました。およそ50本の桜の木を植樹し、1本1本の桜の木には個人や団体に出資していただき、自分の木として愛着を持って育てつつも長く共生の森づくりに関わって頂ければと考えております。



市民・共生②

第3回 北広島市民の郷まつり

8月23日(土)第3回北広島市民の郷まつりが開催されました。

テーマは「つなげる未来」

当日は、法人関係者だけでなく、一般市民の方も多く来場して頂き、コンサート、

バンド演奏、多くの露店と盛りだくさんの内容で実施されました。また、天候も前日まで雨が降り続いていたため、外でのイベントができないのではないかと心配されましたが、当日は昨年の大雨が忘られるような快晴で実行委員の心配もなくお祭りを無事終えることができました。



市民・共生③

ゴミ拾い・除雪

職員有志により、法人本部建物前の元町通りの歩道や花壇のゴミ拾いを地域貢献活動の一環として今年も実施しました。これからも地元・北広島の魅力アップや活性化につなげられるような活動に取り組んで参ります。

また、冬には東部地区にお住まいの高齢者宅等の除雪を実施いたします。例年、屋根からの雪下ろし中や落冰雪等による死傷事故が多数発生しています。ぜひ当法人にご相談下さい。

ボランティア活動を通して、社会福祉法人としての地域における役割と住みやすい街となるよう取組んで行きます。

問い合わせ先 北ひろしま福祉会

住所 北広島市朝日町4丁目4番地11 電話番号 011-373-8809



社会福祉法人 北ひろしま福祉会 事業所一覧



今後の予定

12月1日

グループホーム さくら移転



12月20日

とみがおか・共栄・北広島
デイセンタークリスマス会



12月27~29日

第50回施設開放事業

27年1月

東部緑の苑 新年会

編集後記



日増しに秋も深まり、冬の足音が聞こえてくるような気候になってきました。

今回の施設広報誌では平成26年度前期の法人の動向・トピックスをお届けさせていただきました。前回よりもページ数が増え市民の郷構想に沿った内容となっております。

特別養護老人ホーム 東部緑の苑の開設で介護保険事業を含めた「市民の郷構想」が具体化されました。北ひろしま福祉会について法人関係者だけではなく、より多くの外部の方々にも知って頂けるよう今後も地域貢献・まちづくりに積極的に参加していきたいと考えております。今後とも北ひろしま福祉会をよろしくお願い致します。

法人窓口

〒061-1123 北広島市朝日町4丁目4番地11
電話代表 011-373-8809 FAX 011-373-8673

ホームページ <http://www.kitahiro-fukusikai.or.jp/>

Facebook <https://www.facebook.com/kitahirofukusikai>

E-mail honbu@kitahiro-fukusikai.or.jp